

## 小泉機器工業株式会社



**事業概要** : 住宅設備機器卸売総合商社  
**従業員数** : 180名 (令和7年1月現在)  
**講座実施部署** : 府中営業所  
**部署障害者雇用数** : 1名 (身体障害者1名)

<b>開催日</b>	令和7年7月23日	<b>受講人数</b>	対面 11名
------------	-----------	-------------	--------

### ■ 講座内容

- ① 障害者雇用の現状と考え方
- ② 障害種別の特性・配慮ポイント
- ③ 障害者雇用への社内理解の進め方
- ④ 合理的配慮と適切なコミュニケーション

### ■ テキスト

なぜ障害者雇用に取り組むのか？

- ・雇用義務だから、雇用しないといけない
- ・未達成だと指導が入るから、雇用しないといけない

- ・各家ご家庭業務を切り出して任せことで、社内の生産性・業務効率を上げたい
- ・各家ご家庭業務のある職員同士が働くことで、多様性を尊重できるようになる

障害者の特性を活かし、能力に結び付けていくことが、多様性の理解、業務効率化につながる

職場における適切なコミュニケーション



前向きな声かけが大事  
本人のモチベーションを上げるとともに職場の雰囲気も向上

### きっかけ

障がい者雇用に本格的に取り組むにあたり、府中営業所から雇用を始めることにした。そのため、同営業所内で障がい者雇用および定着支援に関する知識と理解を深めたく講座を申し込みました。

### 感想

社内理解の進め方や、障がい者の現状、面談や業務指導のコミュニケーションの取り方について、大変参考になりました。今後障がい者の方を営業所で受け入れた時にどのように接したらいいのかを、事前にうまく想像することが出来ました（営業所 所員）。

### これから

障がい者に対する偏見や思い込みを捨てて、よくコミュニケーションをとって個人を見ることが大切と感じました。また、その際には抽象的な表現を避けるように心がけたいと思います。障がいがある方に寄り添って積極的にサポートしていきたいです（営業所 所員）。